

【取組 1 1】能登半島国定公園のリ・デザイン (プラン記載箇所：55、56ページ)

＜目指す姿＞

- ◆ 能登半島国定公園のリ・デザインでは、生態系や環境保全による規制拡大だけではなく、**利活用の観点**を十分に意識して進める。
- ◆ 能登の**豊かな自然を堪能**できる道、**育まれてきた暮らしや歴史・文化**が理解できる道、地元住民と来訪者の**交流が生まれる道**として、持続可能な地域づくりに貢献。

プラン掲載の取組 (別冊の掲載ページ)	内容	短期 (～R7末)		中期 (～R10末)			長期 (～R14末)					
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		
① 能登地域における生物多様性の保全 【生活環境部】(106ページ)	能登半島国定公園の拡張などを通じて、能登地域における生物多様性の保全を図るとともに、2030年までに陸域と海域の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする国際目標「30by30」や、生物多様性の損失を止め、自然を回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ(自然再興)」の実現に貢献し、能登の豊かな自然を後世へ継承するとともに、地域資源として利活用の促進につなげます。		・国と協議・調整 ・地元調整	国定公園の拡張 ・特定の場所に紐付いた民間等による生物多様性を増進する活動実施計画認定 ・OECM登録			目標最終年					
② 「のとSDGsトレイル(仮称)」の実施 【生活環境部】(104ページ)	復興の象徴として、海岸隆起などのジオ(大地)的な視点も取り入れながら、能登の豊かな自然や風土に触れ、魅力を体験することができる自然歩道(トレイルコース)を創設し、環境学習の推進や交流人口の拡大につなげます。	・現況調査(被災、自然、歩道) ・事例研究 ・推進体制の検討 ・課題の洗い出し		基本計画の完成・公表	順次、部分開通			運営システムと維持管理体制の構築				全線開通

現在の状況	今後の進め方
① ・R4に能登半島国定公園が拡張候補地に選定され、現在国において調査を実施中。	・国定公園は特に陸域での保全区域の確保を図ることを念頭に、 2030年までの30by30実現 を目指す。
② ・復興途上であることから、まずは 地元市町の理解醸成 に向けて丁寧に説明。 ・R6年度国補正予算に能登半島の自然歩道整備に向けた支援が盛り込まれた。	・現地調査や課題の整理を進め、専門家や地元(行政・住民・事業者)から意見を聞き、検討を進める。

関連する指標 (R7.12末時点)	発災直後	R6.12末時点	現 状	目 標
現時点で関連指標なし				
現時点で関連指標なし				